

授業科目	*ライティング基礎				単位	2		
履修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語) 日本語教員		ナンバリング	EN21207J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP4-2 DP5-1			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	<p>この授業の目的は、英語でパラグラフライティングできる素地を養うことである。練習段階として、文法の確認や和文英訳的な演習も行うが、徐々に自分自身の日常についてなど、まとめた内容を書く作業に移行していく。</p> <p>一定量の英文を書くことに慣れていきながら、パラグラフライティングの基本事項(テーマ、topic sentence、supporting sentence、concluding sentence など)を身につけていく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語を直訳しても、必ずしも伝えたい英語にならないことを理解している。</li> <li>2. 表現したい日本語を、別の日本語表現で言い換えてみる発想を身につけている。</li> <li>3. 人称代名詞を主語とする英文であれば、動詞の文型に留意した上で、正しい単文を書くことができる。</li> <li>4. 従属接続詞を用いた、複文を書くことができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	40	0	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		10	15		5	10	40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)		5	10		5	5	25	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)		5	15		10	5	35	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
基本的な日常の事柄や気持ちについて、まとまった量の英語を書くことができ、パラグラフライティングの形式でまとめることができる。				基本的な日常の事柄や気持ちについて、2, 3文の英文を書くことができる。 英語におけるパラグラフの概念を理解している。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業オリエンテーション、ガイダンス。次週以降の指示。			講義と演習		教科書購入確認、内容および活用方法確認。		30

2	現在形・過去形に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
3	未来形・進行形に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
4	完了形に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
5	法助動詞に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
6	動詞・名詞・代名詞に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
7	形容詞・副詞・前置詞に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
8	ライティングにおけるテーマとトピックセンテンス	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
9	Supporting sentence とは？	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
10	Supporting sentence の具体例	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
11	Concluding sentence について	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
12	決められたテーマに沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
13	決められたテーマに沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
14	決められたテーマに沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
15	まとめ;最終レポートについての説明と準備作業	課題提出、講義、演習	レポート作成準備	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	Basic English writing skills are required along with a dose of imagination. It is important to be willing to experiment with words and with your thoughts and feelings.			
テキスト	New Friends: On the Way to Writing Fluency. 2013. Hiroshi Ozono and Andrew Zitzmann. 南雲堂.			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	English-Japanese/Japanese-English Dictionary, teacher handouts, clear file for writing portfolio			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>Writing is a skill. If you make a habit of writing in English a little every day, you will soon become a fluent writer.</p> <p>授業外でも英語で文を書く習慣をつけてほしい。高校までに学習した文法などを意識しながら自分が書いている文をモニターできるように、校正を繰り返してより伝わりやすい文を作ることができるようになるために、毎日少しずつ書き続けていこう。翻訳サイトの使用は禁止する。自力で基礎的な英語が作れて初めて翻訳サイトの出力英文が正しいかどうかの判断ができる。この授業は、自力で英文を作ること目的としている。遅刻(授業開始後 30 分以内)2回で欠席1回とする。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>学期中に3回小テストする。学習したことがしっかり身についていることを測る。</p> <p>毎週ライティング課題を課す。提出した英文は、チェックやコメント入れて返却するが、そこで指摘された間違いや改善点を、それ以降の提出物で反映させること。</p> <p>最後のレポートはパラグラフの構成、内容、英語の正しさなど授業で学習したことを総合的に理解しているかどうかで評価する。</p> <p>「その他」は主体的な取り組みの姿勢をみる。そのため、居眠り・スマートフォンの操作などは評価方法「その他」の中で減点対象となる。</p>			

